

第八問

(満点 100点)

第七問とあわせ
時間 2時間

監査意見に関して、下記の問に答えなさい。

問1 『監査基準』に基づいて監査人は除外事項を付した限定付適正意見を表明する場合の一般的な条件を簡潔に説明しなさい。
また、監査意見を表明しない場合の一般的な条件についても同様に説明しなさい。

- (1) 除外事項を付した限定付適正意見の場合
- (2) 監査意見を表明しない場合

問2

Q社の平成14年度(平成14年4月1日より平成15年3月31日まで)の監査人は、同社が、この数年、売上げの著しい減少によって資金繰りが悪化し、このままでは振り出している複数相手先の約束手形(期限は平成15年7月8日)の決済、並びに銀行借入金の返済(期限は平成15年7月15日)に手元資金が不足する、と判断した。監査人は、Q社の経営責任者から経営の再建計画と当面の資金繰りに関しての説明を受けることになったが、その説明を受ける前に、この案件に関して、どのような場合に、どのような監査意見を表明することになるのかの条件を整理した。

あなたは、上記の事案に対して、監査人が想定して、整理した各監査意見についての条件のうち、以下の監査意見を表明する場合とはどのような条件の場合であるのかを、本事案で使われている文章や用語も使って説明しなさい。

- (1) 無限定適正意見の場合
- (2) 不適正意見の場合